

9 消 防 費

区 分	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額
	円	円	円
項 1 消 防 費	553,774,000	539,663,421	14,110,579
目 1 常 備 消 防 費	441,132,000	434,781,320	6,350,680

京都府立消防学校をはじめ、京都市救急教育訓練センター、消防大学校等において行われる専科教育や幹部教育では、大規模化、複雑多様化する災害に対応できる人材の育成や組織運営について教育を受けた。

初任教育においては、市民に求められる公務員としての服務義務、職務意欲、関連法規及び専門知識や訓練について理解を深め、消防業務全体の概要を把握し、厳正かつ規律正しい消防職員の養成に当たることを目的とし教育を受けた。

ア 消防学校入校

初任教育	2 人
専科教育警防科	1 人
専科教育危険物科	1 人
専科教育特殊災害科	1 人
専科教育火災調査科	1 人
専科教育予防査察科	1 人
専科教育救助科	2 人
専科教育救急科	2 人
幹部教育中級幹部科	1 人

イ 消防大学校入校

専科教育救助科	1 人
---------	-----

ウ 年間計画訓練

姿勢、服装、礼式、火災防ぎょ、救助（各種）、救急等の週 2 回の各種訓練を実施し、災害に備えた。

エ 救急救命士研修参加

専科教育救急科を修了し、5 年以上の救急業務の実績がある者が、救急救命士免許を取得し、より高度な救急活動を実施することを目的として、京都市救急教育訓練センターで救急救命士研修を受講した。

救急教育訓練センター（救急救命士養成）	1 人
---------------------	-----

オ 火災発生予防

火災予防と被害軽減を目的に、防火対象物の立入検査を実施するとともに、一般住宅に対して、住宅火災警報器の設置と維持管理について指導を行った。

カ 応急手当、防火の指導

救命率の向上を図るため、市民を対象とした各種救命講習や、ジュニア救命講習等の救命入門コースを実施し、1,001人に修了証等を交付した。

また、各種団体（自治会、学校、事業所、PTA等）に消防職員を派遣し、防火の指導を行った。

キ 災害対応

火災、救急、救助その他の事案に出動し、適切かつ迅速な活動を行い、被害の軽減に努めた。

また、本年度新たに、日本語でのコミュニケーションが困難な外国人からの119番通報に対応するため、多言語三者通話システムを導入した。

火災件数 8件

救急件数 1,748件

（うち舞鶴若狭自動車道関係2件、京都縦貫自動車道関係7件）

救助件数 18件（うち舞鶴若狭自動車道関係1件）

その他件数 166件（警戒、怪煙、水防、救急支援等の出動）

ドクターヘリ要請件数 126件

ク 少年少女消防クラブ

少年期から防火や消防に対する理解を深め、防火意識の高揚を図った。

また、少年少女消防クラブによる街頭広報などの火災予防活動等を行った。

ケ 救助資機材整備事業費

自然災害による倒壊家屋などから、安全かつ迅速に要救助者を救出するための資機材の整備を行った。

事業概要	事業費	財 源 内 訳			
		国府支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
救助用支柱器具一式	円 3,537,000	円 1,768,000	円	円	円 1,769,000

区 分	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額
目2 非常備消防費	円 65,450,000	円 62,865,362	円 2,584,638

火災や風水害等に対し、訓練を実施するとともに、実災害では、消防職員と一体となって、被害を最小限に食い止めた。

また、女性消防団員を中心に、街頭広報などを行い火災予防の啓発活動を行ったほか、消防団の活動に必要な京都府消防協会綾部市支部の事業費を負担した。

さらに、消防団員の出動が長時間になった場合に備え、出動手当を充実した。

このほか、自然災害等に備えるため、各分団にチェーンソーを配備した。

事業概要	事業費	財 源 内 訳			
		国府支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
チェーンソー 13 台	円 712,140	円 237,000	円	円 475,140	円

区 分	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額
目 3 消 防 施 設 費	円 17,655,000	円 15,581,664	円 2,073,336

防災基盤整備事業費

事業概要	事業費	財 源 内 訳			
		国府支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
防火水槽（和木町） 新設 無蓋 40 m ³ 級 1 基 解体撤去工 無蓋 20 m ³ 級 1 基	円 5,362,500	円	円 5,300,000	円	円 62,500

区 分	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額
目 4 水 防 費	円 3,128,000	円 890,590	円 2,237,410

水害に対する備えとして、消防職員、団員の水防訓練を実施するとともに、水防資機材の備蓄に努めた。

また、消防団員の出動が長時間になった場合に備え、出動手当を充実した。

区 分	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額
目 5 災 害 対 策 費	円 26,409,000	円 25,544,485	円 864,515

